

胆江・北上・花巻地方

◆地域の情報や話題を
お寄せください

水沢支社 0197(23)2111
中部支社 0198(24)9055

一歩踏み出す勇気を

花巻北高 90周年記念講演 荒川さん(作家) 経験語る

花巻

花巻市の県立花巻北高校(川村俊彦校長、生徒681人)で16日、作家荒川祐二さん(34)の講演会が開かれた。東京・新宿駅東口でのごみ拾い活動を機に人生が変わったという荒川さんが自らの経験を基に「一歩を踏み出す勇気」の大切さを生徒に説いた。

大阪府内の高校を卒業して上智大に入学した荒川さんは「何のために生きていくのか分からない。大嫌いな自分を変えたい」と口にしたながらも行動しない自分に兄が「おまえは口ばっか

1人で始めた。時から2時間の清掃活動を

最初は暴力団員やホストらに「偽善者」とののしられてわざとごみを捨てられたり、カラスの死骸を投げ付けられたりしたが、1カ月近く続けるとホームレスたちが協力。新聞で取り上げられたことでさらに賛同者が増え、半年後の5月3日(「護美の日」)には全国規模のイベントに発展。その後、世界の15万人まで広がった。

荒川さんは、この経験を基に本を出版して作家になり、二トらの若者を積極的に採用する飲食店の経営や学校中心の講演などで幅広く活動するようになった。経緯を飾らない関西弁で愉快に紹介。

その上で「才能がある特別なヤツだけが人生を変えられる」と思っていたが、自分分は誰でもできるごみ拾いをしてだけ」と強調。「俺は成功したんじゃない。ただ成長しただけ」とも話し、「人生を変えるのに特別な才能や能力はいらない。まずは自分を信じて今できる一歩を踏み出すこと。その勇気と自分を諦めない覚悟が大切」と訴えた。

来年の創立90周年に向けた記念事業の一環「100年の学び」講演会の企画。講演後に質問した生徒の一人、菊地凌平さん(1年)



花巻北高の生徒を前に講演する荒川さん

は「まだ親や先生、友達に感謝し切れていない。その

気持ちをお忘れず何かしらにチャレンジしたい。うまくいかないことも多く、進路で悩んでいる時に素晴らしい講演を聴くことができた」と話した。